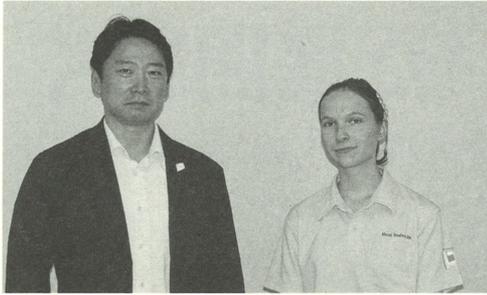


建材・流通加工

ウクライナ人のマリヤさんが勤務
日本とウクライナの橋渡しに一役
メタルプロダクツ(山形)



マリヤさん(右)と渡邊社長

さんが社長のサポートとして勤務し、日本とウクライナの橋渡しに一役買っている。

鉄骨二次部材製作などを手掛ける山形県のRグレードファブ、メタルプロダクツ(最上郡真室川町、渡邊進社長)に、6月からウクライナ人のコ・マリヤさんが社長のサポートとして勤務し、日本とウクライナの橋渡しに一役買っている。

中学生のときから同級生の影響で日本語に興味を持ち、大学では外国語授業で日本語コースを学んで日本の歴史や文化への造詣を深めていた。そのような時、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が勃発。留学プログラマを紹介され、新婚の夫とともに戦火を逃れて来日。「ウクライナが大変な時に安全な日本に避難したという罪悪感はあるが、今は日本とウクライナの橋渡しのために働き、いつかウクライナに戻りたい」という思いを強くしている。

メタルプロダクツは、ウクライナの隣国であるモルドバで事業を展開している。ウクライナは地震がなく、鉄筋造はあるが鉄骨造の建築物は少ないため、今後はJICA(国際協力機構)事業としてウクライナ復興関連(インフラ)を検討している。そのような時、JICAを通じてマリヤさんを紹介され、その人柄を見込んで採用した。「彼女の

行動力と思いやり、優れたバランス感覚は、必ず日本とウクライナの架け橋のために役立つ」と渡邊社長は期待している。

東鉄連形鋼部会の5月調査
販売量2万9679トに減少
月末在庫量は前月と比べ微増

の現状を聞くと「ウクライナはロシアからの弾圧の歴史が長く、自国の歴史や文化などを知る機会が少なかつた。今回の軍事進攻でウクライナの良さを再発見した」と流ちょうな日本語で話す。日本語能力試験N1

取得しているだけのことはある。「今後もウクライナのアイデンティティは二度と消えない」と語る表情に、強い意志を感じる。

日本での生活について水を向けると「現在ウクライナでは海へのアクセスが限られていて、魚は冷凍しかないけど、日本の新鮮な魚は好きで、お米も美味しい。でも、小豆(あんこ)は苦手。ウクライナでは豆は野菜として調理するが、甘い豆は食べたことがない」と笑う。

東京鉄鋼販売業連合会の形鋼部会がまとめた5月の形鋼調査によると、販売総量は前月比5・2%減(前年同月比3・7%減)の2万9679トに減少して3万トを下回った。H形鋼は前年同月比で増加したが前月比では減少、コラムは前月比で増加、前年同月比では減少、一般形鋼は前月比、調査の対象はH形鋼、一般形鋼、コラム、軽量H形鋼、C形鋼、デッキ・キーストンプレートの6品種。このうち扱い数量が多い3品種の販売量、在庫量は次の通り。

▽H形鋼の販売総量は同8・2%減(同3・6%増)の1万3416ト、月末在庫量は同3・3%増(同10・3%減)の2万6498ト。

▽コラムの販売総量は同2・0%増(同3・0%減)の1829ト、月末在庫量は同7・6%減(同34%減)の6372ト。

超大型複合機導入 H形鋼1300対応
MATSUYAMA 鉄
松山鋼材株式会社
匠瑳工場 千葉県匠瑳市八日市場ハ-1100